

Scraping FOETUS OFF THE WHEEL



**破壊的なエネルギーを秘めたサウンドと
特異なキャラクターで話題のアーティスト
ジム・フィータス**

京都ビッグ・バン

11・19 open 5:30 start 7:00

前売り¥3,900 当日¥4,200

主催=STACK・オリエンテーション ☎ 075(721)4402

都立家政スーパーロフト

前売り¥3,900 当日¥4,300

11・20 open 6:30 start 7:00

21 open 6:30 start 7:00

主催=スマッシュ・コーポレーション

予約、問合せ:SMASH 03-444-6751 チケットぴあ 03-237-9999

チケット・ゼン 03-980-6666

前売発売所:新宿エジソン 03-369-3708

青山ハイドバイバハウス 03-499-1966

後援=日本コロムビア

遂に来日決定!!





ついに初来日をはたす
ジム・フィータス待望の2ndアルバム。
己れとの戦いをテーマに
混沌と錯乱に満ちた現代への壮大なレクイエム。
さらにとぎすまされた
ハイエナジーの金属ビートが
全篇を見事に引きしめる。

Profile

フィータスは本名をジム・サールウェルといい1960年オーストラリアのメルボルンで生れる。やがて地元の芸術学校に進むが中退する。メルボルンは典型的な郊外都市。のんびりしているが、何の刺激もないオーストラリアという国にあきあきした彼は、“文化的”刺激を求めてロンドンに渡ることを決意した。

1978のことである。同じオーストラリア出身のバンド、バースデイ・パーティに触発されたことも大きかったしかし希望と刺激を求めていた英国の音楽シーンに失望。1980年に自己の音楽プロジェクト“Foetus”を発表するためのミニ・レーベル、セルフ・イモレーションを作る。フィータス・オン・ユア・プレス、フィータス・オーバー・フリスコなど様々な名前を使って2枚のミニLPを発表するが、うまくいかなくなってしまう。

当時彼は活動資金をかせぐためロンドンの目抜き通りにあるレコード・ショップ、ヴァージン・メガスターで店員として働いたりした。ロンドンからヨーロッパに目を向けた彼は、その当時ヨーロッパに芽生えはじめていた一連のメタル、アヴァンギャルド・ロックと積極的な交流を持ち、あのインシュルツエンデ・ノイヴァウテンをサム・ビザー・レーベルに紹介するきっかけをつくったのも彼である。さらにザ・ザやオレンジ・ジュース等のステージに飛び入りで出演を繰り返すうちにその特異なキャラクターはサム・ビザー社長スティーポの目にとまり、自身も1983年契約のはこびとなる。

'83年の暮には同じオーストラリア出身のニック・ケイブ(元バースデイ・パーティ)とともに、伝説とさえなっている“マイキュレット・コンサンティヴ”というスペシャル・コンサートをNYで実現させている。前述の二人に加えマーク・アーモンドさらに現在はフィータスのガールフレンドでもあるリディア・ランチという顔ぶれだった。これはNYのみならず英国の音楽紙にも大きく取りあげられ彼の名をおおいに高めることになった。

英國のみならずヨーロッパにも彼のファンは多い。さらにフィータスは進歩的ミュージシャン仲間から圧倒的支持されている。

彼のサウンド・コンセプト、特異なキャラクター、そしてクリエイティヴな音楽は、単に破壊とか攻撃などの言葉では語りきれない。次代のロックのきざしを感じさせるに十分である。

COLUMBIA

JIM FOETUS

SCRAPING FOETUS OFF THE WHEEL

ジム・フィータス/釘



豚の王国のテーマ/苦悩の王国//ピッグスウィル
地獄への道/殺りへの門/DI-1-9026/豚の王国の序曲
私的な戦争/すべて(ばんざい)
プロデュース:ジム・フィータス/ウォーン・リブシー
●YX-7373 ¥2,500
11月21日発売